

琵琶湖再生に向けた検討について

滋賀県琵琶湖再生課

県では、平成11年度に策定した琵琶湖総合保全のための長期計画であるマザーレイク21計画に基づいて、様々な環境保全対策に取り組んできた。

この計画については、第1期の目標年が平成22年度となっていることから、現在、琵琶湖の抱える水質、生態系等の様々な課題に対応するため、次の第2期において実施すべき対策や、目指すべき計画の方向性について、琵琶湖総合保全学術委員会により検討を行っている。

5月20日の委員会では、学術委員会で今後検討すべき琵琶湖再生についての方向性について審議した。

今年度は、学術委員、関係機関等からなるワーキンググループ、琵琶湖流域管理シナリオ研究会（琵琶湖センター設置）を立ち上げ、琵琶湖再生に向けてのプロジェクト等について、委員会としての中間的な取りまとめを行うことを目途に検討を進める。

1. 昨年度の検討状況

平成19年8月6日（月）

第1回琵琶湖総合保全学術委員会、メカニズム部会開催

平成19年10月12日（金）

第2回琵琶湖総合保全学術委員会開催

現地視察：近江八幡市宮ヶ浜で地曳き網による魚類調査の実施

平成19年11月14日（水）、平成19年12月19日（水）

第2回、第3回メカニズム検討部会開催

平成20年2月14日（木）

第3回学術委員会開催

浅野委員、井手委員、佐野委員、谷内委員、脇田委員より「人の暮らしと琵琶湖の関わりの再生について」のテーマでの研究発表

2. 今年度の予定

平成20年5月20日（火）（実施済み）

第1回学術委員会、メカニズム部会開催

・琵琶湖再生についての審議

・知事より「人の暮らしと琵琶湖の関わりの再生」のテーマについての講演。

学術委員、関係機関等からなるワーキンググループ（魚WG、水質WG、暮らしWG）を設置し、琵琶湖再生に関する調査や施策を検討

（水質WG会議：7月16日、8月27日、10月1日、31日）

（魚WG、暮らしWG：7月25日、8月29日、10月6日、31日）

メカニズム部会の開催（11月26日）

第2回学術委員会開催予定（平成21年2月16日）

